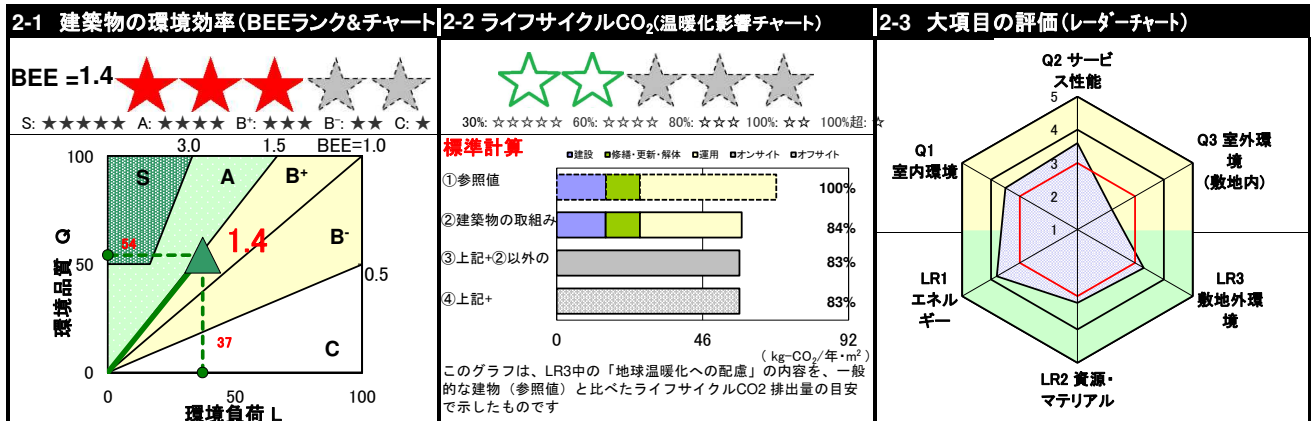


CASBEE®-建築(新築)

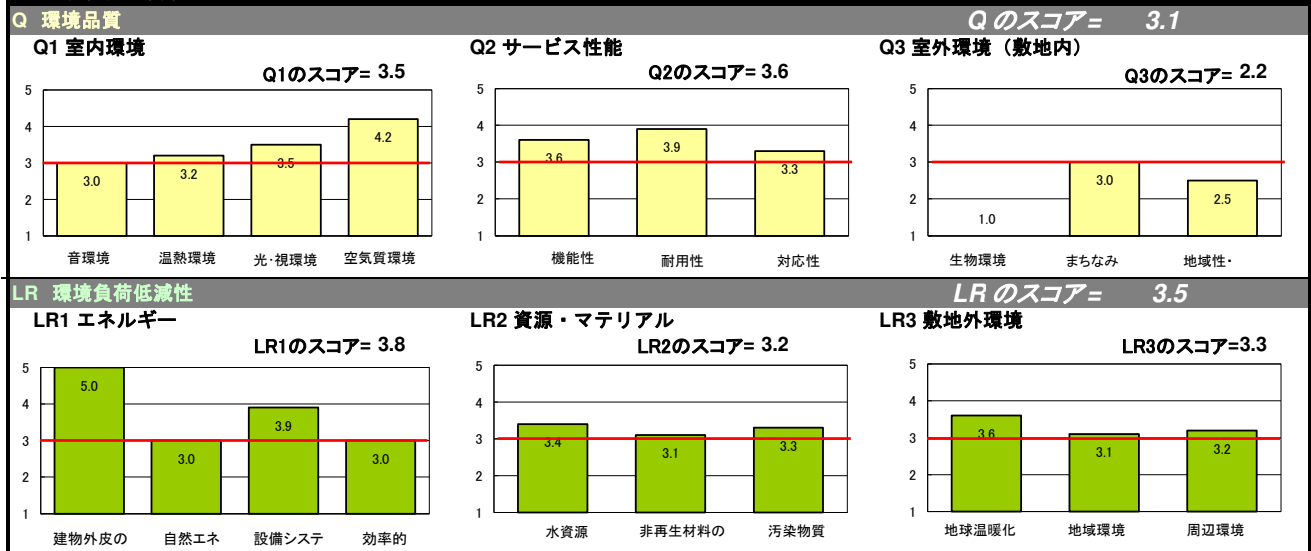
評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	焼津体育館	階数	地上1F
建設地	焼津市焼津四丁目15-12,15-13,15	構造	S造
用途地域	第一種住居地域、第二種住居地域	平均居住人員	116 人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,838 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年2月 予定	評価の実施日	2024年11月25日
敷地面積	5,385 m ²	作成者	大橋 康孝
建築面積	3,030 m ²	確認日	
延床面積	2,961 m ²	確認者	



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合 これはCASBEE静岡(2021年SDGs対応版)による評価結果である。 建築物の環境品質については、ゆとりが有り維持管理のしやすい空間とすることで環境品質が向上するよう努めている。		その他 特になし
Q1 室内環境 室内の建築材料☆☆☆を採用している 空調商品や人の配置状況により空調「オン」が、ゾーン別制御をしている。 換気は昨今の社会的背景に対応させ十分な換気量とし	Q2 サービス性能 空間にゆとりを持たせることによって、機能的で使いやすい空間とするとともに将来の変化にも対応できるように配慮している。 主要な外装材、内装材、配管は更新必要間隔が長い材料	Q3 室外環境(敷地内) 外部仕上等において、周辺の街並みや風景にバランスよく調和させている。
LR1 エネルギー 消費電力の小さいLED照明を採用している。 建物外皮、設備システムは環境負荷が小さくなるよう配慮している。	LR2 資源・マテリアル 衛生機器は節水型を採用している。 躯体材料以外におけるリサイクル材の採用に配慮している。 有害物質を含まない材料の使用に努めるなどして環境への悪影響の低減を図っている。	LR3 敷地外環境 近くの気象台を用いて風向風速卓越風などの風環境を把握し、計画に配慮した。 屋外照明及び屋内照明はチェックリストの過半を満たすよう配慮している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される